

分類：医療・社会・行動科学Ⅱ

授業科目名：医の倫理と原則（The ethics and the principle of the medical care）

対象学年：2年次必修

時間割コード：71583003

開設学期等：第33週

単位数：1

1. 主任教員

安藤秀明（教授、看護学講座、6501、オフィスアワー：メールにて問い合わせ：andoh@gipc.akita-ua.ac.jp）

2. 担当教員

安藤秀明（教授、看護学講座、6501、オフィスアワー：メールにて問い合わせ：andoh@gipc.akita-ua.ac.jp）

浅井 篤（非常勤講師、東北大学医学部公衆衛生学専攻医療倫理学分野教授）

大北 全俊（非常勤講師、東北大学医学部公衆衛生学専攻医療倫理学分野准教授）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

医学と医学研究における倫理の重要性を学び、尊重することができる。

（1）研究に対応した倫理指針と法律を説明することができる。

（2）臨床研究、臨床試験、治療と市販後臨床試験の違いを概説できる。

（3）臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第I,II,III,IV相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準、治験審査委員会、倫理審査委員会）を説明できる。

（4）患者の基本的権利を熟知し、これに関する現状を学ぶ。

（5）多様なニーズ・価値観を理解し、対応することができる。

（6）医師に求められる義務と裁量権、習慣、考え方と知識を身につける。

（7）患者本位の医療を実現できるように、適切な説明を行った上で、患者の選択に基づき、主体的な同意を得るための、対話・コミュニケーション能力と必要な態度、考え方を身につける。

4. 教科書・参考書

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000197665.html>

5. 成績評価の方法

【アセスメントポリシーに基づき、知識とその応用力などについて評価する。】

出席状況、グループ学習・発表内容、レポートを総合的に評価し、授業の参加状況が3分の1以下の場合は統一試験受験資格を失う。最終評価は、統一試験結果で判断する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

事前にWebClassにより講義資料を配付するので、これを事前学習しておくこと。

専門用語に関する知識については、事前学習していることを前提に講義を進める。

事例検討では、事前にグループ毎に事例を割り当てるので、内容を検討して発表会の準備をして、授業で発表する。

問い合わせ先：andoh@gipc.akita-u.ac.jp

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	1月10日 (火)	1-2時限	講義	<p>テーマ：臨床倫理総論</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 臨床倫理四原則を理解し、これにもとづいて課題を分析することが出来る。 リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 	安藤 秀明	オンデマンド授業
2	1月10日 (火)	3-4時限	講義	<p>テーマ：臨床倫理各論：以下の概念について概説する。</p> <p>パターナリズム / 倫理委員会 / 自己決定重視と共同体 / 功利主義と義務主義 / 秘密保持 / カルテ開示 / 優生思想 / クローン人間 / 生色操作 / 出生前診断 / 臓器移植 / 安楽死 / 尊厳死 / LGBT / SOGI /</p>	安藤 秀明	オンデマンド授業
3	1月10日 (火)	5-8時限	講義	<p>テーマ：インフォームド・コンセント</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の自己決定権の意義を説明できる。 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 	浅井 篤	基礎講義棟 2階 第2 講義室
4	1月10日 (火)	9-10時限	講義	<p>テーマ：エホバの証人</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 	安藤 秀明	基礎講義棟 2階 第2 講義室
5	1月11日 (水)	1-4時限	講義	<p>テーマ：主要先端医療に関わる倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研究、臨床試験、治療と市販後臨床試験の違いを概説できる。 臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第I,II,III,IV相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準、治験審査委員会、倫理審査委員会）を説明できる。 患者の基本的権利を熟知し、これに関する現状を学ぶ。 	浅井 篤	基礎講義棟 2階 第2 講義室
6	1月11日 (水)	5-10時限	講義	<p>テーマ：人生の最終段階の医療倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生の最終段階における意思決定支援を学ぶ。 未病の時期に、キーパーソンを選び、自分の価値観を共有すべきであることを理解する。 患者の意思決定能力を学ぶ。 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。 	浅井 篤	基礎講義棟 2階 第2 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	1月12日 (木)	1-10時限	演習	<p>テーマ：臨床倫理事例課題発表</p> <p>パターンリズム / 倫理委員会 / 自己決定重視と共同体 / 功利主義と義務主義 / 秘密保持 / カルテ開示 / 優生思想 / クローン人間 / 生色操作 / 出生前診断 / 臓器移植 / 安楽死 / 尊厳死 / アセント / コンプライアンス / カルテ開示などについて、事例をもとに課題発表を行う。</p>	安藤 秀明	基礎講義棟 2階 第2 講義室
8	1月13日 (金)	1-4時限		<p>テーマ：死生学・SOGI</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。 ・自身が所属する文化を相対化することができる。 ・人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。 ・医師の法的義務を列挙し、例示できる。 ・SOGI/LGBTについて概説できる。 	安藤 秀明	オンデマンド授業
9	1月13日 (金)	5-6時限	講義	<p>テーマ：研究倫理 / 利益相反</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第I,II,III,IV相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準、治験審査委員会、倫理審査委員会）を説明できる。 ・臨床研究、臨床試験、治療と市販後臨床試験の違いを概説できる。 	大北 全俊	基礎講義棟 2階 第2 講義室
10	1月13日 (金)	7-10時限	講義	<p>テーマ：主要先端医療に関わる倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 ・文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。 ・AIの倫理 ・臓器移植 ・COVID19下の診療義務 	大北 全俊	基礎講義棟 2階 第2 講義室